

NEWS LETTER

架け橋ひろば

代表コラム

～福祉と人権の未来を語る～

学ぶ権利に国境はない

——知的障害者の高等教育保障をめぐって——

一般社団法人 未来への架け橋 代表理事 長谷川正人

世界では今、「すべての人に学ぶ機会を保障すること」が重要な教育政策として進められています。特に欧米諸国では、知的障害のある若者が大学などで学び、地域の中で生き生きと暮らす姿が見られるようになってきました。高等教育が、多様な人に開かれつつあるのです。

私はこれまで、アメリカ、イギリス、スウェーデン、フィンランド、カナダ、韓国など13か国・26の大学を視察してきました。多くの大学で、知的障害のある学生がごく自然に学び、支援を受けながら社会的自立を目指していました。中でも北欧の「生涯学習をすべての人の権利とする制度」は、学びの本質を深く問い直すものでした。

アメリカでは、知的障害のある学生向けの高等教育プログラム「IPSE」が360校以上で展開されています。健常学生と共に学び、支援員が学習や生活、就労をサポートし、自信と選択肢を育てています。

一方、日本ではようやく福祉事業型カレッジなど、少しずつ学びの場が生まれ始めていますが、制度的な保障はまだ乏しく、多くの若者が高校卒業後に学びを断念しています。

「学ぶこと」は、知識や技能を得るだけでなく、自分らしく生きる力を育て、仲間と出会い、未来を描く営みです。だからこそ、障害の有無に関わらず、高等教育の機会は一人ひとりの人権として保障されるべきです。

私たち「未来への架け橋」は、世界の実践に学びながら、日本でも誰もが希望をもって学べる環境をつくっていきたくて願っています。知的障害があっても、「学びたい」「成長したい」という思いは、特別なものではありません。その声に応える社会を、一緒につくっていきましょう。

郊外行事：「みんなのアート展」に行ってきました！

公益財団法人アクロス福岡と、FACT（福岡県障がい者文化芸術活動支援センター）が共同で企画する『わたしのもよう「みんなのアート展」』に行ってきました。

今回のテーマは「模様」。自由な発想やのびのびとしたデッサン、色使いの美しさに、とても感動しました。「〇〇さんなら、こんな感じの絵が描けそう！」「この絵が好き！」「自分も描いてみたい！」など、作品に刺激を受け、会話をしながら楽しく観覧されていました。次回のアート展では、宇美キャンパスの皆さんも作品を制作し、ぜひ出展してみたいと考えています。どんな作品が生まれるのか…どうぞお楽しみに！



宇美キャンパスの活動はこちらから

余暇活動： BBQ & 海水浴



沼津市に西浦地区の平沢マリンセンターにて6月7日にBBQを行いました。

『海のBBQ? or 山のBBQ?』

『夏だし海でしょ!』とみんなと計画した

BBQでは、夏らしい活動に

海も空もみんなの笑顔もキラ☆キラ☆

輝いていました。マリンセンター様

お世話になりありがとうございました。

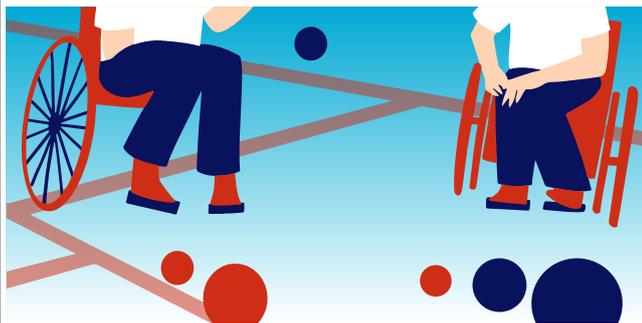


三島キャンパスの活動はこちらから

特別セミナー：ボッチャ・モルック体験！

自立訓練の行事を紹介♪

今月は特別セミナーで、成田市役所のスポーツ振興課の方々をお招きし、保護者様もご一緒に「成田知っ得出前講座」を受講しました。多種多様な講座がある中で、今回はボッチャとモルックというスポーツの体験をお願いしました！皆さんはこの2種目、ご存じでしょうか？ボッチャはスポーツのプログラムで全員体験をした事がありましたが、モルックは初めての方が多く、皆興味津々で説明を聞いておりました。実際にプレーしてみると、戦術や得点計算に奥深さがあり、「これ分かったら楽しいね！」という声も聞こえるほどでした。笑顔たっぷりの時間となりました！



成田キャンパスの活動はこちらから

学びの現場から ～こんな授業やっています！～

成田キャンパス：ゲームで交流！



今回は生活介護でおこなっている活動を紹介します。

毎日午後の時間に「コミュニケーション」というプログラムがあり、そこでは職員や他利用者さんとの関わりを楽しむ事を目的に様々な遊びに触れています。先日、パラスポーツとして馴染み深い「ボッチャ」という競技のルールをアレンジした「ボッチャターゲット」に挑戦しました。的をめがけて沢山ボールを入れよう！というシンプルなルールです。とはいえ、何事も初めての体験というのは不安を感じやすいものです。ルールの説明を受けた利用者さんも最初は自信を持たず手を横に振っていました。それでも、職員の見本を見て「できる！」という気持ちを持ったようで、胸を張って初投球！1球投げるとに歓声を受けてハイタッチで感情を共有しました。その瞬間の嬉しそうな表情が印象に残っています。結果2ゲームを楽しむ事ができました！楽しい気持ちを誰かと共有できること、そんなコミュニケーションの醍醐味ともいえる感覚を日々体験できる機会を作っていけたらと思います。

宇美キャンパス：生涯学習コース Kさん

Q. みらいカレッジに来る前は何をしていましたか？

別の作業所で、チラシや箱折りの作業をしていました。

Q. みらいカレッジの第一印象は？

楽しいところだと思いました。いろいろな行事があるからです。

Q. 楽しいと思うのはどんなときですか？

行事で買い物をしているときが楽しいです。

今までで一番楽しかった行事は、福岡市動植物園に行ったことです。

オランウータンがかわいかったです。

Q. 好きな時間はいつですか？

作業の時間が好きです。

チラシ重ねや封入が好きです。目視と計量でチェックします。

Q. 頑張っていることはありますか？

毎日のウォーキングや、雨の日はエアロバイクを頑張っています。

晴れの日には朝と昼にロータリーウォーキングを10周ずつしています。

雨の日には朝と昼にエアロバイクを5kmずつ漕いでいます。



INTERVIEW



"一緒に乗り越えられる伴走者でありたい"

三島キャンパス 生活支援員 山田 咲菜さん

今回ご紹介するのは、日々全力で、そして笑顔で利用者さんと関わっているスタッフさんです。彼女は大学で教員免許を取得しましたが、卒業後すぐに教員になることに不安を抱えていました。そんな中、大学で障がい者教育を学び、ボランティアを通して障がいのある方々と関わるうちに、「一緒に何かを経験する楽しさ」や「誰かの励みになれる嬉しさ」を実感し、その経験が心に残って福祉の道へ進む決意を固めました。

支援では、「全力で楽しむこと」に加え、「苦手なことやつらさに寄り添い、共に考えること」を大切にしています。「少しずつでも、一緒に乗り越えられる伴走者でありたい」—そんな思いを胸に、日々利用者さんと真摯に向き合っています。また、「支援は一人ではできない」と、チームでの協働も重視しています。他愛ない会話や支援の振り返り、悩みを共有することにも、この仕事のやりがいや楽しさを感じているそうです。

「三島キャンパスの利用者さんはいつも笑顔。共に笑い合える日々は、私にとってかけがえのない時間であり、日々の励みになっています」と語ります。今後は、「ここなら安心できる」「自分を認めてもらえる」と思ってもらえるような場を目指して、キャンパスをさらに盛り上げていきたいと話してくれました。

最後に、地域の皆さまやご家族への感謝の気持ちを込めて——

「日々のご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。皆さまからのお言葉が励みとなり、『また頑張ろう』と思えます。これからも、皆さまと共に支え合っていけたらと思っております。どうぞよろしく願いいたします。」



地域と学生がつながる、やさしさに満ちた時間

——静岡県立大学の学生さんが三島キャンパスを訪問して——

先日、静岡県立大学から2名の学生さんが、みらいカレッジ三島キャンパスを訪問してくださいました。その感想から、若者たちのまなざしと新たな気づきをご紹介します。

まず、脇田小鈴さんは「訪問前はどんな場所か全く想像がつかなかった」と語ります。実際に足を運ぶと、アットホームな雰囲気にもまれ、隣の部屋から楽しげな声が聞こえたそうです。「ここは預かる場ではなく、利用者一人ひとりの個性と向き合い、自分らしく挑戦できる場所だと感じた」と述べ、利用者たちが地域と関わりながら社会に踏み出す姿に心を動かされた様子でした。また、日常の中での人との関わりが大切にされており、利用者が自ら積極的に話しかけてくれたことが印象的だったそうです。「障がいのある方と接するのは初めてだったけれど、大切な経験になった」と振り返ります。



見崎綾音さんは、みらいカレッジの4年制の仕組みに関心を持ちました。前半2年は自立訓練、後半2年は就労準備という構成に、「学ぶ」という選択肢を提供する先進性を感じたそうです。また、「重度の障がいがある子どもも排除せず、誰もが受け入れられている理念に感銘を受けた」と話し、インクルーシブ社会を実現しようとする強い意志を感じ取ったといいます。「好奇心や探究心にあふれる利用者たちに、自己肯定感や自信を育む場所になっている」とも述べ、安心して成長できる“第三の居場所”としての意義を実感されたようでした。



今回の訪問を通じて、学生のお二人は新しい視点や価値観に出会い、「共に生きる社会」の大切さを肌で感じてくれました。このような地域と学生の交流が、未来の福祉を豊かにしていく一歩になることを願っています。

No.2：成田キャンパス 生活介護 Tさんご家族

Q.カレッジに入学したきっかけ、カレッジを選んだ理由

中学2年生の時に特別支援学校で長谷川代表の講演会を聞いて、「障害のある人にも高等教育を」と。教育は大切だと思っていたので、未来が広がったと思いました。しかし、ご縁がなく他の生活介護に進みましたが、「ソファーでゆっくり過ごしました」の報告を受ける毎日でした。これでいいのか？と悩んでいた時にカレッジに通所中のご家族より成田でみらいカレッジが開校すると聞いて、やはり教育を受けさせたいという思いから入学することを決めました。

Q.通わせてよかったと感じる瞬間

今までの生活介護が外での活動がメインで、あとはソファーでゆっくりしていたようなので、本人にとって事業所の変更がよかったのかまだ分からないのが本音です。ただ、毎日カレッジで行ったプリントを見て、頑張っているのだなと思います。小さなシールを沢山貼っていたり、鉛筆を持ってプリントに取り組んでいたりするのを見て、本人の頑張りを感じられるときに通わせてよかったと思います。

Q.今後お子様に対して期待する姿

現在、言葉でのコミュニケーションが図れていないことで、思いが伝わらず自傷行為等がみられます。今後は思いが伝えられるようになり、穏やかになってほしいです。

支援にも自分にも役立つ、行動につながる小さな習慣



宇美キャンパス
管理者 武田 由美 さん

やりたいのに、なかなか重い腰が上がらない…。そんなとき、私が実践している6つの習慣をご紹介します。

ひとつでも「これならできそう」と思えるものがあれば、日々の中に取り入れてみてください。

大切なのは、気合や根性ではなく「動きやすい仕組み」をつくること。

そして何より、自分を責めないこと。「やろう」と思っているだけでも、すでに前を向いている証です。

1. 「5分だけ」タイマーで始める

気が重いときほど、「5分だけやってみよう」と区切ること。必要なのは「やる気」じゃなく、「動き出す勇気」だけです。

2. 「5,4,3,2,1」でカウントダウンして動き出す

迷う時間が長いほど動けなくなるもの。5秒で動く自分ルールを作ると、意外とスムーズに進めます。

3. 「やる気」じゃなく「行動」を信じる

「やる気が出たらやろう」は一日が終わるパターン。動いてみると、やる気は後から追いかけてきます。

4. 大きなタスクは「細かく分ける」

「資料を作る」ではなく「表紙を作る」「見出しを書く」など、細かくすると取りかかりやすくなります。

5. 「未来の自分」を想像する

「終わったあとの気持ち」を想像することで、今の「やりたくない」を少し乗り越えやすくなります。

6. 人に宣言する

「今からこれをやる」と誰かに伝えるだけで、小さなスイッチが入ることもあります。

各キャンパスおすすめベストショット

成田キャンパス



念願の外レク
完全燃焼、汗だくです

宇美キャンパス



郊外行事
私の好きな、模様

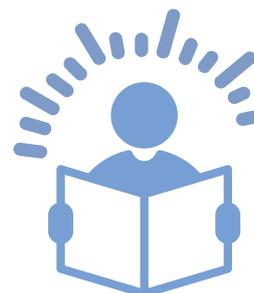
三島キャンパス



海でのBBQ
青い空と広い海、青春の1ページ

第2号を読んでくださった方から届いた嬉しいお声を紹介いたします！

第2号、大変興味深く拝読させていただきました。
創刊号よりもさらに充実されて様々な立場の方々のコメントが集まっています、とっても良い勉強になります。
ここまでてんこ盛りで、大丈夫？と思うくらいの充実度ですが、それだけみなさまのご活動が充実されている証拠なのだ最後まで読んで理解しました。
未来はとっても明るい！と感じさせていただける冊子をありがとうございます。
(篠田 哲郎様)



法人の思いや活動にご賛同いただける方のお申込みをお待ちしています



活動内容

＞福祉啓発活動

ニューズレターやウェブサイト、SNSを活用し、活動内容や成果を広く発信します。

＞会員間のネットワーク構築

会員間の意見交換や共同プロジェクトを行います。

【年会費（1口）】

法人	特別会員：10万円
	正会員：5万円
	賛助会員：1万円
個人	特別会員：3万円
	正会員：1千円
	賛助会員：3千円

【お申込】
左のQRコードより
お申込みください。

6月架け橋の会ご入会者様
ご支援、心より感謝申し上げます。

6月も、新たに法人・個人の皆さまに賛助会へご入会いただきました。

※賛助会員の皆さまのご紹介につきましては、事前に掲載許可をいただいた方のみ、お名前等を掲載させていただきます。今月ご入会いただいた会員の方のお名前の掲載は、控えさせていただきます。

代表理事・長谷川正人が、以下の講演会に登壇いたします。障害のある方の18歳以降の学びや進路に悩むご家族、福祉・教育関係の皆さまと共に、これからの可能性を考えるひとときをご一緒できれば幸いです。ご関心のある方は、下記QRコードよりぜひお気軽にお申し込みください。



◆2025年7月13日（日）愛知県半田市開催
「障がいのある青年たちとつくる『学びの場』講演会」

時 間：14:00～16:00
会 場：瀧上工業 雁宿ホール 講堂
テーマ：『学びが拓く未来』
～新たな選択肢の「みらいカレッジ」～



お申込み

FOLLOW



◆2025年7月27日（日）宮城県仙台市開催
「知的障害のある人の18歳以降の学びの場
～宮城のインクルーシブキャンパスを考える～」

時 間：13:30～15:30
会 場：のびすく泉中央 のびすくホール
テーマ：『知的障害のある人の学びと社会』
～海外の事例とみらいカレッジの挑戦～



お申込み

FOLLOW

スケジュール 7月の行事・イベント予定

July

WELCOME

みらいカレッジでは、いつでもキャンパスをご見学いただけます。

「どんな雰囲気なのかな?」「活動を見てみたいな」など、少しでもご興味をお持ちの方は、どうぞお気軽にお問い合わせのうえ、お越しくださいませ。

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
7月21日(月・祝)は納涼祭を開催! 皆さま、ぜひお近くのキャンパスへ お気軽にお立ち寄りください。楽し いひとときをご一緒できるのを、心 よりお待ちしております!		1 地域活動(成田)	2 地域活動(三島) 介護施設草取り 地域活動(宇美) オンライン 説明会	3 防災訓練(三島)	4 特別講座 着付け講座 (三島)	5 閉所日
6 閉所日	7	8 地域活動(成田) 介護施設 ボランティア	9 お出かけ(宇美) オンライン 説明会	10	11 しそジュース づくり(三島)	12 閉所日 オープンキャン パス(三島)
13 閉所日	14	15 地域活動(成田)	16 オンライン 説明会 地域活動(宇美)	17 市民プール(三島)	18	19 閉所日
20 閉所日	21 お祭り 納涼祭 (成田/三島)	22	23 地域活動(宇美) オンライン 説明会	24	25	26 閉所日 みらいカレッジ 説明会(成田)
27 閉所日	28	29 特別講座 なりた知っ得 講座(成田)	30 地域活動(宇美) オンライン 説明会	31	 オープンキャンパス 説明会お申込	

地域活動

みらいカレッジは、地域とのつながりを大切にし、定期的に地域活動を行っています。地域社会の一員としてお手伝いできることがございましたら、お気軽にご連絡ください。



読者アンケート

いつも「架け橋ひろば」をご愛読いただき、誠にありがとうございます。

皆さまからお寄せいただく感想やご意見は、私たちにとって大きな励みとなっております。

今後もより良いニュースレターをお届けできるよう努めてまいりますので、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。



編集後記

広報部より

みらいカレッジでは、「地域とのつながり」を大切にしています。地域に出て交流を重ねることで、利用者さんの未来の笑顔につながってほしい—そんな思いで日々取り組んでいます。

今月は、大学生との交流や市役所の特別講座、近隣のアート展など、各キャンパスで地域活動に取り組む様子が見られ、一歩ずつ前に進んでいることを実感し、心から嬉しく思っています。来月号も、みらいカレッジの魅力をお伝えできるニュースレターにしていきたいと思っております!(宮入)



学びをチカラに。未来を拓く!
一般社団法人 未来への架け橋

<https://mirai-kakehashi.com/>

お問合 せ
〒151-0061
東京都渋谷区初台1-51-1-709
TEL: 03-5351-8818
E-Mail: info@miraicollege.com

